

## フードレジデンシー Food Residency

国外から参加したサポートシェフが、奈良での滞在を通して出会った人々や歴史から感じた奈良をインスタレーション等の形で表現しました。

### vol.1 Following The Lines

サポートシェフ:Luz Moreno(ルース・モレノ)/スペイン  
2016年10月2日(日)~4日(火)  
warehouse工場跡倉庫



スパイスを見て、嗅いで、起源を知るインスタレーション

### vol.2 Say Cheese!

サポートシェフ:Pauline Lemberger(ポーリーン・レンバーガー)/フランス  
2016年10月11日(火)  
鹿の舟「庵」



手作りのフレッシュチーズと奈良の食材をふんだんに使った料理を提供

## ハイブ HIVE

奈良女子大学の「奈良の食プロジェクト※」が期間限定で結成したプロジェクトチーム「HIVE」が「Nara Food Caravan Project」に参加し、奈良の歴史・食材等の食にまつわるリサーチやポップアップレストランの企画・運営を行いました。

※奈良の食プロジェクト…大和野菜や奈良漬のような奈良の食材を活かしたメニュー作りなどを学生主体で行うプロジェクト。これまでに、多数の企業とコラボレーションし、商品開発の実績あり。



## その他

### 中国・韓国にちなんだ給食の献立

2016年9月23日(金)・26日(月)、10月4日(火)・5日(水)・28日(金)  
市立小学校と一部の市立中学校

中国・韓国にちなんだ学校給食の献立を通じて、子どもたちは日中韓3都市の文化交流について学びました。



## 交流事業

- オープニング 68
- 日中韓3都市交流事業 71
- クロージング 79



# オープニング

奈良市をはじめ、パートナー都市である中国・寧波市と韓国・済州特別自治道でオープニング式典が開催され、奈良市からも両都市の式典に参加しました。各都市では式典に加え、シンポジウムや伝統芸能公演など、趣向を凝らした多彩なプログラムが生まれ、期待感を盛り上げました。

## 奈良市オープニング(日本)

2016年3月26日(土)  
 (第1部)東大寺総合センター 金鐘ホール  
 (第2部)東大寺大仏殿前庭

〈第1部〉記念シンポジウムの終了後、〈第2部〉式典・オープニングステージを東大寺大仏殿前庭で開催し、約1,400人が参加しました。

### program

- |  |  |
|--|--|
| <p>〈第1部〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.開会あいさつ<br/>・奈良市長 仲川げん</li> <li>2.プレゼンテーション<br/>・蔡國強 “船をつくる”プロジェクト</li> <li>3.シンポジウム(▶16~21頁)<br/>「移動と文化—黒潮文化圏としての東アジアから未来を展望する」</li> </ol> <p>〈第2部〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.東大寺僧侶による法要</li> <li>2.開会宣言</li> <li>3.主催者あいさつ<br/>・文化庁長官 青柳正規(当時)<br/>・奈良市長 仲川げん</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>4.来賓あいさつ<br/>・寧波市副市長 張明華<br/>・済州特別自治道知事 元喜龍<br/>・東大寺別当 筒井寛昭(当時)<br/>・奈良県知事 荒井正吾</li> <li>5.映像交流プロジェクト作品上映<br/>・寧波市紹介映像<br/>・済州特別自治道紹介映像<br/>・奈良市紹介映像</li> <li>6.伝統芸能披露<br/>・寧波市 越劇「梁山伯と祝英台」<br/>・済州特別自治道 済州伝統音楽「恋しさー恋」他<br/>・奈良市 伎楽「獅子奮迅」</li> <li>7.フィナーレ</li> </ol> |
|--|--|



シンポジウムから式典へ子どもたちのお出迎え



「奈良一番」による賑やかな退場時演出

## 映像交流プロジェクト

日中韓各国を代表する映画監督が、それぞれ開催都市を舞台にした映像作品を制作し、オープニングをはじめ、東アジア文化都市事業のさまざまな場面において上映しました。

- 「再見 Goodbye」  
ジャ・ジャンクー監督(中国)
- 「HAENYEO」  
オ・ミヨル監督(韓国)
- 「RESPECT」  
河瀬直美監督(日本)

※3監督による映像作品は、添付DVDに収録



あいさつする監督と出演者

## 日中韓伝統芸能披露

3都市を代表する伝統芸能を、大仏殿の特設舞台で披露。寧波市からは越劇「梁山伯と祝英台」、済州特別自治道からは済州伝統音楽「恋しさー恋」他、奈良市からは、おやさと雅楽会・天理大学雅楽部が伎楽「獅子奮迅」を披露しました。



- ①寧波市 越劇「梁山伯と祝英台」
- ②済州特別自治道 済州伝統音楽
- ③奈良市 伎楽「獅子奮迅」





## 寧波市オープニング(中国)

2016年4月15日(金)  
寧波国際会展センター

式典会場では各国の伝統工芸品が展示され、奈良市の出展ブースには奈良漆器と陶芸の制作実演を見ようと、たくさんの方が集まりました。

また、各都市のパフォーマンスが披露され、奈良市からは舞太鼓あすか組が出演しました。



## 濟州特別自治道オープニング(韓国)

2016年4月7日(木)  
濟州国際コンベンションセンター

会場では開幕宣言に続き、寧波市からは甬劇、奈良市からは舞太鼓あすか組のパフォーマンス、濟州特別自治道からは海女を題材にした踊りが披露されました。

また、奈良市の出展ブースでは、奈良団扇と漆器の制作実演を行いました。



## 日中韓3都市交流事業

奈良市・寧波市・濟州特別自治道それぞれの伝統芸能や音楽、学術研究等、さまざまなジャンルが影響しあって醸成される文化を発信しました。日中韓の市民が、直接顔を合わせ、語り合い、交歓し合うことができる多彩なプログラムを実施しました。

### 奈良市開催

#### 平城京天平祭

2016年5月3日(火・祝)～5日(木・祝)

春の平城京天平祭は「東アジア」がテーマで、寧波市・濟州特別自治道の伝統芸能が会場を大いに盛り上げました。また、食部門「Nara Food Caravan」がモンゴル遊牧民の伝統的住居「ゲル」を出店し、シルクロードの味を楽しめる料理を提供しました。



寧波市 梅山獅子舞

#### 寧波市

##### 梅山獅子舞

5月3日(火・祝)・4日(水・祝)  
第一次朝堂院・ステージ

#### 濟州特別自治道

##### 伝統仮面踊 ほか

5月4日(水・祝)・5日(木・祝)  
第一次朝堂院・ステージ



濟州特別自治道 伝統仮面踊

### 青少年交流事業

#### 大学生による書の交流

2016年5月24日(火)～25日(水)  
奈良県文化会館

寧波市と濟州特別自治道の大学生が来寧し、奈良の伝統工芸である墨づくりや筆づくりを体験しました。そして、奈良教育大学書道教育専修の学生たちと協力しながら書の作品を制作するなど、日中韓総勢33人の学生が交流を図りました。

「日中韓共通文化『漢字』から読み取るそれぞれの文化」をテーマに、3か国の共通漢字をまとめた「日中韓共同常用八百漢字表」から学生たちが好きな一文字を選んで書いた作品や、東アジアの共通文化である木簡を使った作品など、各国の文化を体現した書作品を制作しました。そして、作品を「日中韓大学生の書展」として5月26日から29日まで奈良県文化会館展示室で展示しました。



3か国の学生が協力して寄せ書きを作成



青少年交流事業

日中韓の高校生による写真交流 — 日中韓の高校生が撮る“見知らぬなら・見知ったなら” —

2016年8月4日(木)～8日(月)  
入江泰吉記念奈良市写真美術館、入江泰吉旧居、奈良公園 等

寧波市、済州特別自治道の高校生と奈良市の一条高校、奈良高校、東大寺学園高校の生徒たちが参加しました。

総勢32名の高校生は、奈良市高校生観光特派員による奈良市の紹介や、入江泰吉記念奈良市写真美術館の百々俊二館長らから写真についての講習を受けました。その後、各都市1人ずつ10班に分かれて東大寺や奈良公園、なら燈花会などを巡り、日中韓合同グループによるテーマ作品の制作を行いました。

制作のテーマは“見知らぬなら・見知ったなら”。高校生たちは、かつて東アジアからの文化が伝わった風景を、ともに行動することで感じ取り、カメラに収めていました。そして、制作した作品を8月9日から28日まで、入江泰吉記念奈良市写真美術館で展示しました。



ことほぐなら  
「古都祝奈良 — 時空を超えたアート祭典」開会式

2016年9月3日(土)  
大安寺塔跡

奈良市の姉妹都市、韓国・慶州市の伝統芸能「笛算調」と「嶺南立舞」で始まった式典では、実行委員会委員長の仲川げん市長が「奈良だけでなく、全国へこの事業の影響を広げていきたい」と意気込みを語りました。また、中岡司文化庁次長は「この事業が未来志向の日中韓のつながりとなることを願います」と想いを伝えました。

その後、主催者代表、来賓、アドバイザーの北川フラム氏、美術部門を手掛けたアーティストらが開幕のテープカットを行いました。



日中韓Musicフェスタin春日野音楽祭

2016年9月18日(日)～19日(月・祝)  
近鉄奈良駅前広場(まちなかステージ)

春日大社第六十次式年造替を市民でお祝いしようと始まった市民参加型の野外音楽祭である春日野音楽祭において、2日間にわたり開催しました。

小川祥子さん・榎原明子さん(日本)、寧波市民族音楽楽団・シカキョウさん(中国)、キムシオンさん(韓国)による演奏のほか、ヤンジウンさん(韓国)によるパンソリ・民謡などが披露されました。



日中韓の演奏者による三重奏

START FROM CHINA — 東アジア文化都市交流芸術展 —

2016年11月22日(火)～24日(木)  
大和文華館文華ホール

中国芸術研究院中国版画院副院長、寧波大学潘天寿芸術設計学院院長の徐仲偶氏がグループリーダーを務め、国際キュレーターの林琳氏が展示を企画し、開催しました。

「START FROM CHINA」をテーマに、絵画、漆器、インスタレーション、クリエイティブデザイン等の作品およそ30点を展示しました。



オペラ「鑑真東渡」奈良公演・シンポジウム

2016年12月22日(木)～23日(金・祝)  
なら100年会館

鑑真和上が日本にたどり着いてから、1263年。ゆかりの地である奈良で、鑑真の故郷であり、奈良市の友好都市揚州市がある江蘇省の演芸集団による新作オペラ「鑑真東渡」を上演しました。

公演に先駆けて、日中両国の専門家が一堂に会し、鑑真の功績についてのシンポジウムも開催しました。





寧波市開催

## 青年文化交流イベント

2016年6月17日(金)  
寧波大紅鷹学院

日中韓の若者の友好関係をさらに深めるために、寧波市の大学で開催されました。

奈良市からはソプラノの東野亜弥子さんとピアノの井本理絵さんが出演し、日本古謡「さくらさくら」やショパン作曲エチュード op.10-12「革命」、中国で有名な歌曲「大海よ、わが故郷」を披露しました。



## アマチュア囲碁大会

2016年9月22日(木)～24日(土)  
南苑ホテル

日中韓3か国共通の文化である囲碁の大会が開催され、奈良市も参加しました。

中国から2チーム、韓国から2チーム、日本からは奈良市を含む4チームの計8チームが参加しました。

23日から24日の2日にかけて行われた対局では、白熱した戦いが繰り広げられ、囲碁を通じて交流を深めました。



## 日中韓芸術祭

2016年9月28日(水)～29日(木)  
寧波文化広場

開幕式では、セレモニーと日中韓3都市の芸能団による芸能披露が行われ、奈良市からは「梅若朝生会」による奈良に伝わる民謡、「藤間流みやび会」による舞踊「松竹梅」を披露しました。

また、日中韓芸術祭のプログラムのひとつとして開催された、地面に字を書く文化を体験する「地面書道芸術交流展」と、各国の書道文化の共通点や違い等についてディスカッションする「日中韓地面書道芸術セミナー」には、奈良教育大学准教授の谷川雅夫氏と同書道科の学生2人も参加しました。



「梅若朝生会」による民謡



地面書道芸術交流展



「藤間流みやび会」による舞踊

## 寧波市図書館読書ウィーク

2016年11月18日(金)～19日(土)  
寧波市図書館

専門書から児童書まで、さまざまな分野の本に関する催しが行われ、奈良市も寧波との歴史的なつながりを紹介するため、講座「天一読書サロン」に参加しました。

大和郡山市教育委員会主任の山川均氏が東大寺南大門にある石獅子など、中国から日本に伝わった石造技術について講演しました。



## 南宋石刻文化国際フォーラム

2016年12月3日(土)  
寧波芸術センター

寧波市の東銭湖における彫刻文化をテーマにしたシンポジウムが開催され、大和郡山市教育委員会主任の山川均氏が奈良市と寧波市の石文化について講演しました。





濟州特別自治道開催

濟州フォーラム

2016年5月27日(金)  
濟州国際コンベンションセンター

世界各国の政府高官や国際機関の代表らが、アジアの平和のために議論を交わす「JEJU FORUM FOR PEACE & PROSPERITY 2016」が開催されました。

東アジア文化都市関係者など70人余りが参加した交流活性化についての討論では、東アジア文化都市間の民間交流や、欧州文化首都と東アジア文化都市間の相互の交流について話し合いました。



青少年文化キャンプ

2016年7月26日(火)~27日(水)  
石文化公園

奈良市からは、公募で選ばれた一条高校書道部4人と高取国際高校書道部6人、帝塚山大学の学生10人の計20人が参加しました。高校生は日中韓の共通文化である「書」を、大学生は「写真」を通じて交流を深めました。



濟州国際管楽祭

2016年8月11日(木)~13日(土)  
天地淵滝野外ステージ、濟州文芸会館ほか

若手の木管・金管楽器演奏家を育成しようと1995年から毎年開催されている吹奏楽の音楽祭に参加しました。公募で選ばれた高円高校吹奏楽部金管アンサンブル「音楽上等」の9人が、4ステージに出演するとともに、「東アジア文化都市3都市交流合同演奏会」にも出演しました。



日中韓芸術祭

2016年8月27日(土)~28日(日)  
濟州国際コンベンションセンター

「日中韓文化大臣会合」と併せて開催された「日中韓芸術祭」に奈良市を紹介する広報ブースを出展し、奈良町からくりおもちゃ館の協力で、江戸時代のからくりおもちゃの体験や写真パネルの展示などを行いました。



タムラ 耽羅文化祭

2016年10月7日(金)  
塔洞広場ステージ

濟州を代表する祭りである耽羅文化祭が開催され、奈良市から「奈良葛城楽所 雅遊会」が出演し、雅楽を披露しました。

また、公演に先立ち「奈良葛城楽所 雅遊会」と「奈良楽譜」の皆さんがハルラ小学校を訪れ、音楽を通して児童と交流を深めました。



濟州ワールドミュージック オルムフェスティバル

2016年10月8日(土)~9日(日)  
肝列岳漢撃樹木園ワールドステージ

シルクロードをテーマに国内外からアーティストが招へいされ、奈良市からは「奈良楽譜」(パーカッション・ピアノ・龍笛・笙・カヌーン)が出演しました。





## 濟州アートフェア「東アジア文化都市交流展」

2016年10月27日(木)～30日(日)  
テドンホテル、キムマンドク記念館

国内外で活躍している青年アーティストの交流と作品の紹介を行う濟州アートフェアが開催され、約60人の若手作家が自作品を展示しました。

「東アジア文化都市交流展」では、奈良市から関西文化芸術学院教員の森川浩孝さんと彫刻家の絹谷幸太さんが参加しました。

その他にも、「東アジア文化都市 濟州アートフェア交流セミナー」が開催され、「日中韓現代美術のアイデンティティ」をテーマに、キュレーターや美術専門家による講演が行われました。奈良市からは前奈良県立美術館学芸課長の南城守さんが奈良の現代美術について講演しました。



森川さん作品



絹谷さん作品

## 濟州映画祭

2016年11月15日(火)～17日(木)  
ロッテシネマ濟州

濟州映画祭のシンポジウムに、企画連携事業である「なら国際映画祭2016」の実行委員長 中野聖子さんが招待されました。

また、「なら国際映画祭2016」学生映画部門で観客賞を受賞した向井啓太監督の『チョコレートケーキと法隆寺』が招待上映されました。



## クロージング

### 奈良市クロージング

2016年12月26日(月)  
〈第1部〉なら100年会館 中ホール  
〈第2部〉なら100年会館 大ホール

3月26日(土)に東大寺にて開幕し、さまざまなプログラムを開催してきた「東アジア文化都市2016奈良市」。2016年東アジア文化都市事業に出演したアーティストとともに1年を締めくくるクロージングを開催し、約1,100人が参加しました。

#### program

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <p>〈第1部〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.開会あいさつ<br/>・文化庁長官官房審議官 磯谷柱介</li> <li>2.3都市プレゼンテーション(▶28頁)<br/>「2016年東アジア文化都市」各都市の足跡</li> <li>3.パネルディスカッション(▶29～30頁)<br/>「東アジア文化都市」のレガシーとは<br/>～明日に遺すべきもの～</li> <li>4.共同宣言<br/>「東アジア文化都市2016」奈良宣言(▶104頁)</li> </ol> | <p>〈第2部〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.オープニングアクト<br/>・奈良市役所チーム「八重櫻」with伊藤ゆり</li> <li>2.主催者あいさつ<br/>・奈良市長 仲川げん<br/>・文化庁長官 宮田亮平(ビデオメッセージ)</li> <li>3.来賓あいさつ<br/>・中国共産党寧波市委員会宣伝部長 万亜偉<br/>・濟州特別自治道行政副知事 全聖泰</li> <li>4.「東アジア文化都市2016奈良市」ダイジェスト映像上映</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>5.芸能披露<br/>・奈良市 奈良楽譜「Silk Road Mix Trip」<br/>・寧波市 寧波市演芸集団<br/>演奏「河姆渡発想」/独舞「水墨天一」<br/>・濟州特別自治道 ヤンジウ・韓国国楽協会濟州支部<br/>韓国民謡メドレー/韓国フュージョン国楽</li> <li>6.次期開催都市あいさつ<br/>・京都市長 門川大作</li> <li>7.芸能披露<br/>・京都市 京の舞妓「祇園小唄」<br/>・奈良市 舞太鼓あすか組「WASSHOI/RAN」</li> <li>8.フィナーレ</li> </ol> |
|--|---|---|





日中韓芸能披露



奈良市:奈良楽譜[Silk Road Mix Trip]



奈良市役所チーム「八重櫻」with伊藤ゆり



宮田亮平文化庁長官ビデオメッセージ



寧波市:寧波市演芸集団 演奏「河姆渡発想」/独舞「水墨天一」



次期開催都市・京都市へのバトンタッチ



京都市:東アジア文化都市2017京都交流大使 京の舞妓「祇園小唄」



済州特別自治道:ヤンジウン・韓国国楽協会済州支部「済州民謡メドレー/韓国フュージョン国楽」



奈良市:舞太鼓あすか組「WASSHOI/RAN」



フィナーレ



## 寧波市クロージング

2016年12月7日(水)  
寧波シャングリラホテル、慶安会館北側緑地、寧波文化広場大劇院

日中韓の東アジア文化都市9都市が集結したラウンドテーブルでは、今後の都市間交流や連携をどのように強化していくかについて討論され、「寧波提議」が承認されました。

「東アジア文化都市友好碑除幕式」に続いて行われた閉幕式では、雑技団やバレエなどの多様なプログラムが行われ、奈良市からは「奈良市役所チーム「八重櫻」with伊藤ゆり」が出演しました。

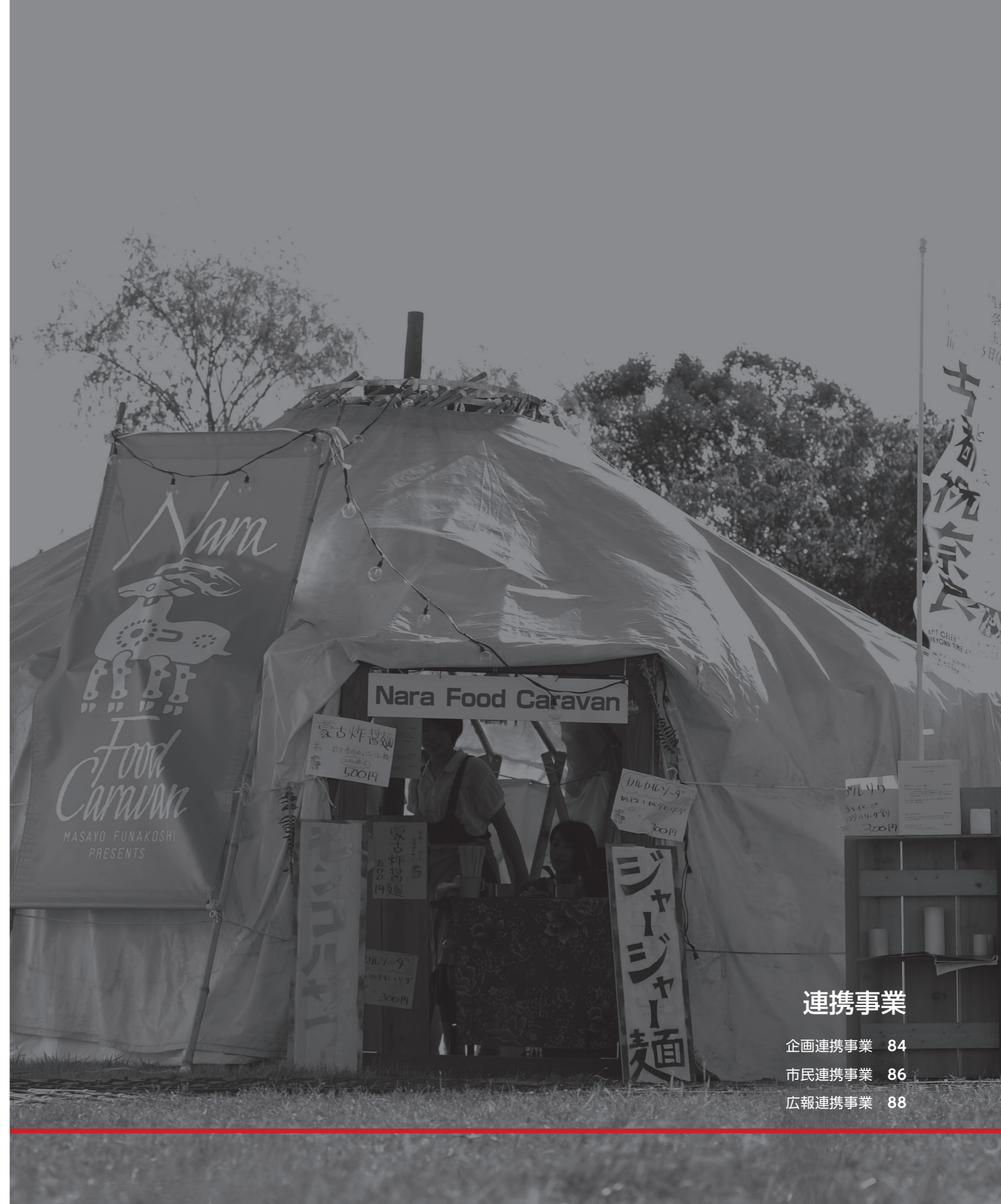


## 濟州特別自治道クロージング

2016年12月16日(金)  
濟州国際コンベンションセンター

クロージングのプログラムの一つとして、日中韓の人文の学識者によるシンポジウムとパネルトークが開催されました。奈良市からは奈良文化財研究所史料研究室長の渡邊晃宏氏が木簡の文化から見える日韓の歴史的なつながりについて、奈良市埋蔵文化財調査センター所長の森下恵氏が出土品から読み取るアジアの歴史について講演しました。

その後行われた式典では、今後も3都市で交流を続けていこうという思いを込め各都市の代表者が「2016東アジア文化都市濟州文化宣言」に署名しました。クロージングステージでは、奈良市の一条高校ダンス部が3か国をイメージした楽曲とともにダンスを披露しました。



## 連携事業

- 企画連携事業 84
- 市民連携事業 86
- 広報連携事業 88